



*more***Trees**

*more***Trees**

モア・トゥリーズとは？

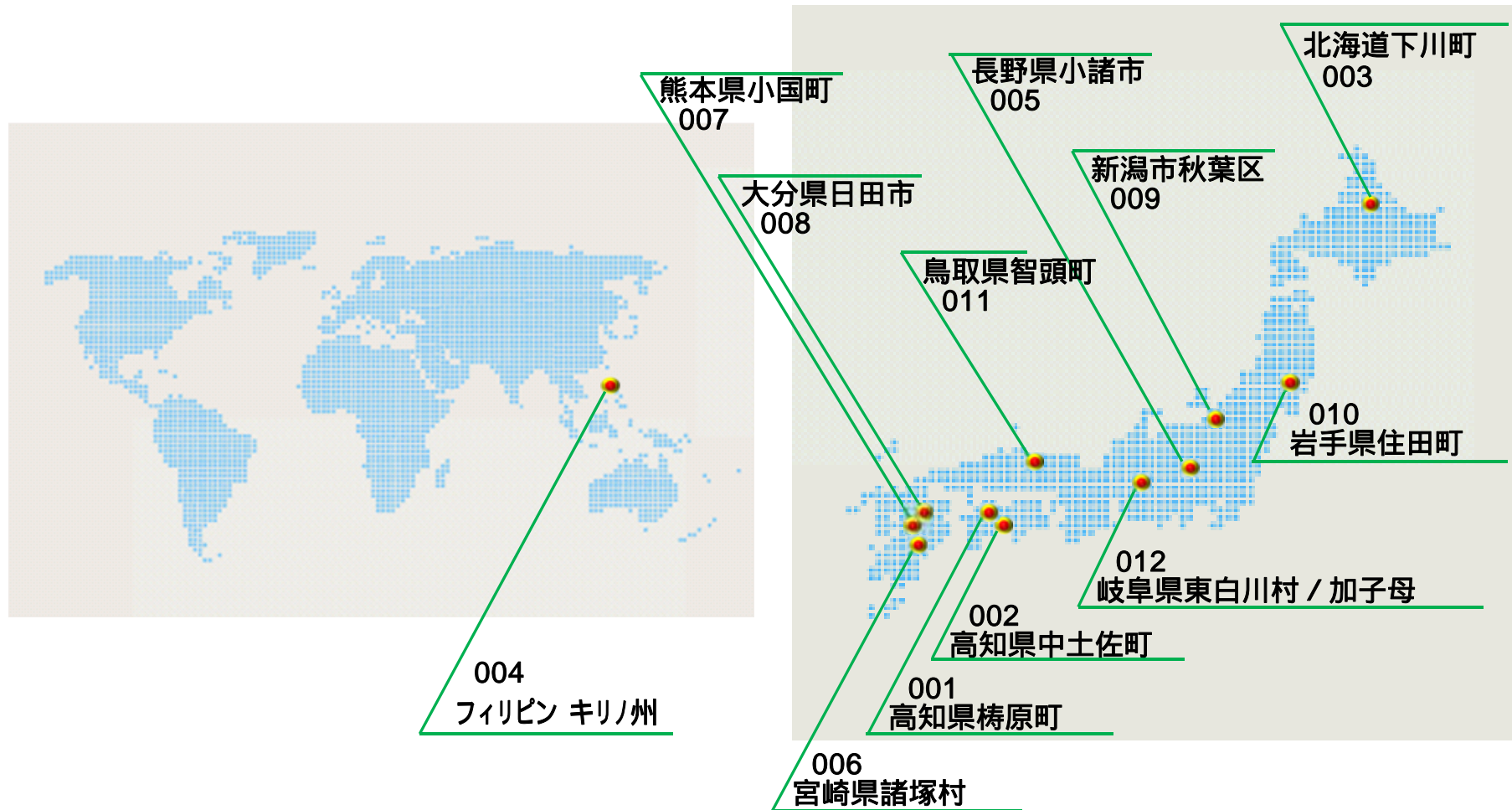
音楽家の坂本龍一が中心となり
細野晴臣、高橋幸宏、中沢新一、桑原茂一の
5名の発起人および各界から100名以上の賛同人を得て、
2007年7月に設立。

国内外での森づくりによるカーボンオフセットのほか、
保水力や生物多様性など森の持つ機能の回復を
目指しています。



more treesの森づくり

国内ではすべて間伐、海外では植林を展開しています。
施業は基本的に各地が主体となって進めています。



moreTrees

more treesの活動 ~ キーワードは「森と都市をつなぐ」 ~

カーボンオフセットの推進

空気のつながり

都市部で排出されるCO2を、森が吸収することで実現される「カーボンオフセットを推進しています。

森がもつさまざまな恵みのうち、これまで評価されていなかった「CO2を吸収し、酸素を供給する」という機能が適切に評価され、森に正当な対価が支払われる仕組みづくりを目指しています。



国産材の利用拡大

モノのつながり

森林整備（間伐）の推進と同時に、国産材の利用拡大にも推進しています。デザイナーや地域の製材・木工業者と連携したモノづくりをし、都市部の百貨店やインテリアショップに販路を開拓しています。また、木製品以外にも、木の精油を使ったコスメなどにも取り組んでいます。

より多くの方が、木のぬくもりを感じられるようなライフスタイルを提案しています。



グリーンツーリズムの普及

ヒトのつながり

私たちmore treesが掲げているキーワードは「都市と森をつなぐ」。究極のつながりは、実際に森を訪れ、五感で感じる事だと思います。人と人とのつながりが持てるきっかけを増やすことも我々のチャレンジの一つです。ツーリズムを通じて、林業だけでなく観光業やサービス業も付加した地域活性も目指しています。



雑貨・ギフトとしてのポテンシャル

鳩時計

デザイン: 深澤直人







今年の新作

隈研吾氏デザインの「つみき」。宮崎県諸塚村のスギ材(FSC認証材)を使用しています





Copyright © 2015 more trees . All Right Reserved









企業とのコラボレーション

NTT docomo、オリンパス、シャープのご協力のもと、四万十ヒノキの間伐材を使用した携帯電話。2011年3月下旬発売



考察

普段使いと違い、ギフト需要では購入単価が上がる傾向が強い

ただし、「国産」だけでは売れない。そこにはデザインやストーリーが求められる

山側の事情を押し付けるのではなく、消費者が直感的に「欲しい！」と思わせるモノづくりが問われる



*more***Trees**